

# コスモ石油株式会社 2004年度決算説明

---

2005年5月18日

専務取締役

森川 桂造

単位:億円

	当期	当期内訳		前期比	前期比内訳	
		石油単独	連結会社		石油単独	連結会社
売上高	21,546	19,650	1,896	2,383	2,863	▲ 480
営業利益	657	474	183	405	344	61
経常利益	632※	417	215	437	346	91
当期純利益	264	137	127	182	106	76

※うち、持分法投資損益

当期 55億円 前期比 +28億円

期末配当金 (2005年3月期)

5円 (2円増配)



年間配当金 8円

# P/L 石油単独 営業利益344億円増益の要因分析

単位:億円

	当期	前期比	増減理由
売上高	19,650	2,863	①販売価格の上昇 +2,354億円 ②総販売数量の増加 +509億円
売上原価	18,318	2,554	①原油価格などの上昇 +2,283億円 ②数量の増加要因 +492億円 ③在庫評価の影響 ▲221億円
販管費	858	▲ 35	合理化・効率化による減少
営業利益	474	344	

	当期	前期比
売上高の増減要因	販売価格(円/KL)	5,280
	総販売数量(千KL)	719
	伸び率	101.6%
	内需燃料油数量(千KL)	▲ 41
	伸び率	99.9%
受入原油価格	FOB(\$/BBL)	9.47
	為替(円/\$)	▲5.6(円高)
	税込価格(円/KL)	5,495
在庫評価の影響 (符号:対利益)	当期の影響(億円)	原価の押し下げ
	前期の影響(億円)	▲ 95 原価の押し上げ

内需燃料油内訳	前期比
ガソリン	102.2%
灯油	98.9%
軽油	101.5%
A重油	102.5%
4品計	101.5%
ナフサ	100.6%
ジェット	108.2%
C重油	90.1%
内需燃料油計	99.9%

# P/L 石油単独 当期純利益106億円増益の要因分析

3

単位:億円

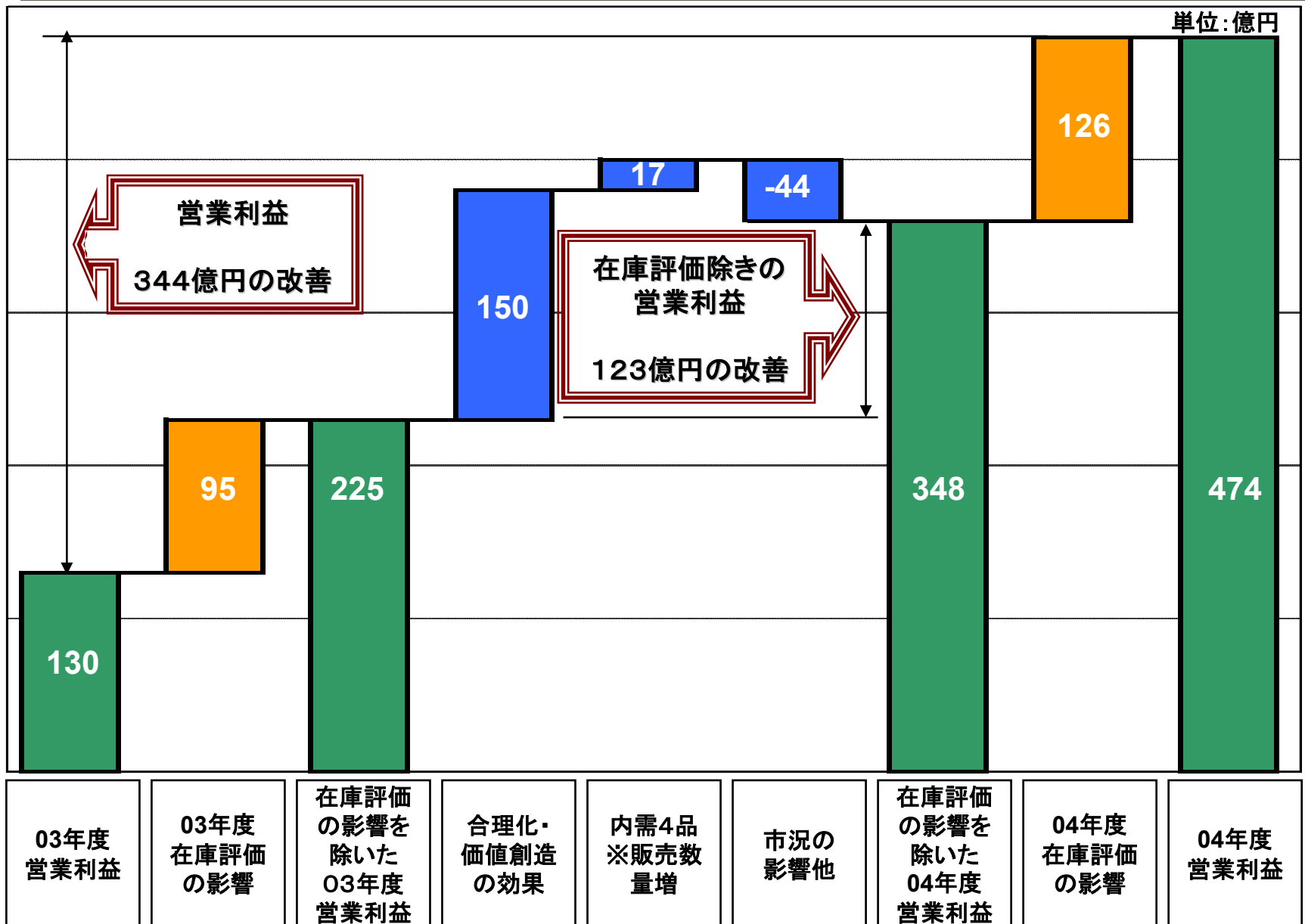
	当期	前期比	増減理由
営業利益	474	344	
営業外損益	▲ 57	2	①金融収支 +18億円 ②為替差額他 ▲16億円
経常利益	417	346	
特別損益	▲ 152	▲ 137	当期より「固定資産の減損会計」早期適用 ▲86億円
当期純利益	137	106	

## 資産グループ別減損損失額 (件数)

資産グループ	石油単独	連結会社※	合計
石油事業	—	12(8件)	12(8件)
不動産賃貸事業	5(9件)	3(3件)	8(12件)
遊休資産(SS、油槽所、その他)	81(84件)	12(32件)	93(116件)
合計	86(93件)	27(43件)	113(136件)

※コスモ石油販売株式会社発生分のみ

# P/L 石油単独 営業利益344億円増益の要因分析



## P/L 石油単独 「合理化・価値創造」 150億円の内訳

合理化・価値創造 150億円達成  
 当初見通し 140億円(合理化51億、価値創造89億)比 108%の達成率

項目	部門	内容	実績	単位:億円
合理化	供給部門	VLCC用船料の低減	3	
		製油所の省エネ、保全費・作業費の削減など	21	
	販売部門	経費の削減	11	
	物流部門	自社・共同基地の有効活用など	5	
	管理部門	人件費や一般経費の削減	12	
合理化 計			52	
価値創造	供給部門	収益性改善プログラム導入による付加価値アップ	23	
		FCC増強・精製プロセス改善	8	
	販売部門	販路構成改善、油種構成改善、マスチャネル強化	63	
		カード収入増	4	
価値創造 計			98	
合理化・価値創造 計			150	

※会計のルールに従い各部門に割り振っています

# P/L 主要連結会社 営業利益 増減分析

単位:億円

	当期	前期比	増減要因
アブダビ石油	126	51	①原油価格上昇(28.35→36.61\$/BBL) ②為替の悪化(117.22→108.84¥/\$ )他
販売子会社	20	5	①合理化・効率化の推進及び市況の好転 ②販売子会社合併時の引当実施
コスモ石油ルブリカンツ	10	3	合理化・効率化の実施他
コスモ松山石油	17	5	石油化学製品の販売数量増および芳香族の市況好調

※主要連結会社別の売上高、経常利益、当期純利益、セグメント情報については、補足資料⑤を参照ください

## B/S 連結 総資産630億円増加の要因

単位:億円

	当期末	前期末比
総資産	13,231	630
有利子負債額	4,978	▲ 615

## 資産総額630億円増加の要因

①現預金の減少	△ 7 0 5 億円
前期末休日による未払い揮発油税の影響	△ 3 5 0 億円
有利子負債の減少	△ 6 1 5 億円
その他	2 6 0 億円
②原油価格上昇による売掛債権等の増加	9 3 6 億円
たな卸資産の増加	5 6 2 億円
売掛金・受取手形の増加	1 1 6 億円
未収入金の増加	2 5 8 億円
③その他	3 9 9 億円
固定資産の増加	1 2 7 億円
その他	2 7 2 億円
<b>計</b>	<b>6 3 0 億円</b>

中期経営計画  
有利子負債額目標  
5,200億円  
(2005年度末)



計画を上回る削減



単位:億円

	当期	前期末比	当期のポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	405	-	揮発油税・石油税支払いの期ずれによるマイナス影響(350億円)を含む(補足資料⑥参照ください)
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 366	-	固定資産及び投資有価証券取得等
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 702	-	有利子負債の削減
期末のキャッシュ残高	381	▲ 664	

## 補足資料①販売および原油の状況

販売の状況			
	当期	前期比	増減率
総販売数量 千KL	45,302	719	101.6%
内需燃料油 千KL	30,175	▲ 41	99.9%
内 4品数量 千KL	19,262	276	101.5%
マグナムレシオ	17.3%	▲0.8%	—
原油価格、為替、原油処理			
	当期	前期比	増減率
受入原油代(FOB)\$/BBL	37.14	9.47	—
為替レート¥/\$	107.69	▲5.6(円高)	—
受入原油代(税込)¥/KL	28,383	5,495	—
原油処理量千KL(占有権)	29,544	▲ 860	97.2%
トッパー稼働率 (CD)	85.6%	▲2.2%	—
トッパー稼働率 (SD)	92.3%	3.0%	—

SD: 定期整備等の影響を除いた稼働率

## 補足資料②人員数・油槽所数・SS数・カード枚数推移

人員数推移								実績
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末
石油単独	3,109	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837	1,764	1,729
グループ	5,678	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736	3,565	3,480
※グループ:石油単独+出向								
油槽所数推移								実績
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末
	57	52	45	41	39	39	38	38
SS数推移(可搬式を含む)								実績
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末
社有	1,172	1,105	1,065	1,010	977	959	930	899
自己	5,614	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,112	3,912
合計	6,786	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,042	4,811
内、セルフSS数	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	
	5	8	23	109	285	398	483	
内、Auto B-Cle SS数				02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	
				217	428	652	652	
コスモ・ザ・カード枚数推移(万枚)								実績
	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	
有効枚数	135	146	162	185	213	239	242	

# 補足資料③ 連結 石油単独 04年度 経営成績・財務状況

単位:億円

連結	当期	前期比	増減率
売上高	21,546	2,383	12.4%
営業利益	657	405	160.2%
経常利益	632	437	224.4%
当期純利益	264	182	223.0%
総資産	13,231	630	—
株主資本	2,279	231	—
株主資本比率	17.2%	0.9%	—
有利子負債額	4,978	▲ 615	—
有利子負債比率	37.6%	▲ 6.8%	—
石油単独	当期	前期比	増減率
売上高	19,650	2,863	17.1%
営業利益	474	344	265.3%
経常利益	417	346	491.5%
当期純利益	137	106	340.8%
総資産	11,635	540	—
株主資本	1,813	111	—
株主資本比率	15.6%	0.3%	—
有利子負債額	4,608	▲ 335	—
有利子負債比率	39.6%	▲ 5.0%	—

補足資料④ 石油単独 合理化・価値創造 進捗総括表

項目	部門	2004年度								
		上期			下期			年度計		
		計画	実績	達成率	見通し	実績	達成率	見通し	実績	達成率
		(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
合理化	供給	12	10	89.0%	10	11	115.8%	20	22	107.5%
	販売	1	1	100.0%	8	8	100.0%	9	9	100.0%
	物流	3	3	102.9%	1	1	100.0%	5	5	100.0%
	管理ほか	9	10	105.6%	8	7	86.7%	17	16	94.1%
	小計	25	24	97.1%	27	27	101.9%	51	52	101.0%
価値創造	供給	13	14	104.6%	19	18	92.1%	33	31	95.4%
	販売	15	14	97.3%	42	53	127.4%	56	67	120.4%
	新規事業	6	2	32.0%	-2	-2	100.0%	0	0	100.0%
	小計	34	30	88.6%	59	69	116.9%	89	98	111.2%
総合計		59	54	92.3%	86	96	112.2%	140	150	107.5%

# 補足資料⑤ 主要連結会社別・セグメント別 04年度 経営成績

単位:億円

## <<主要連結会社別>>

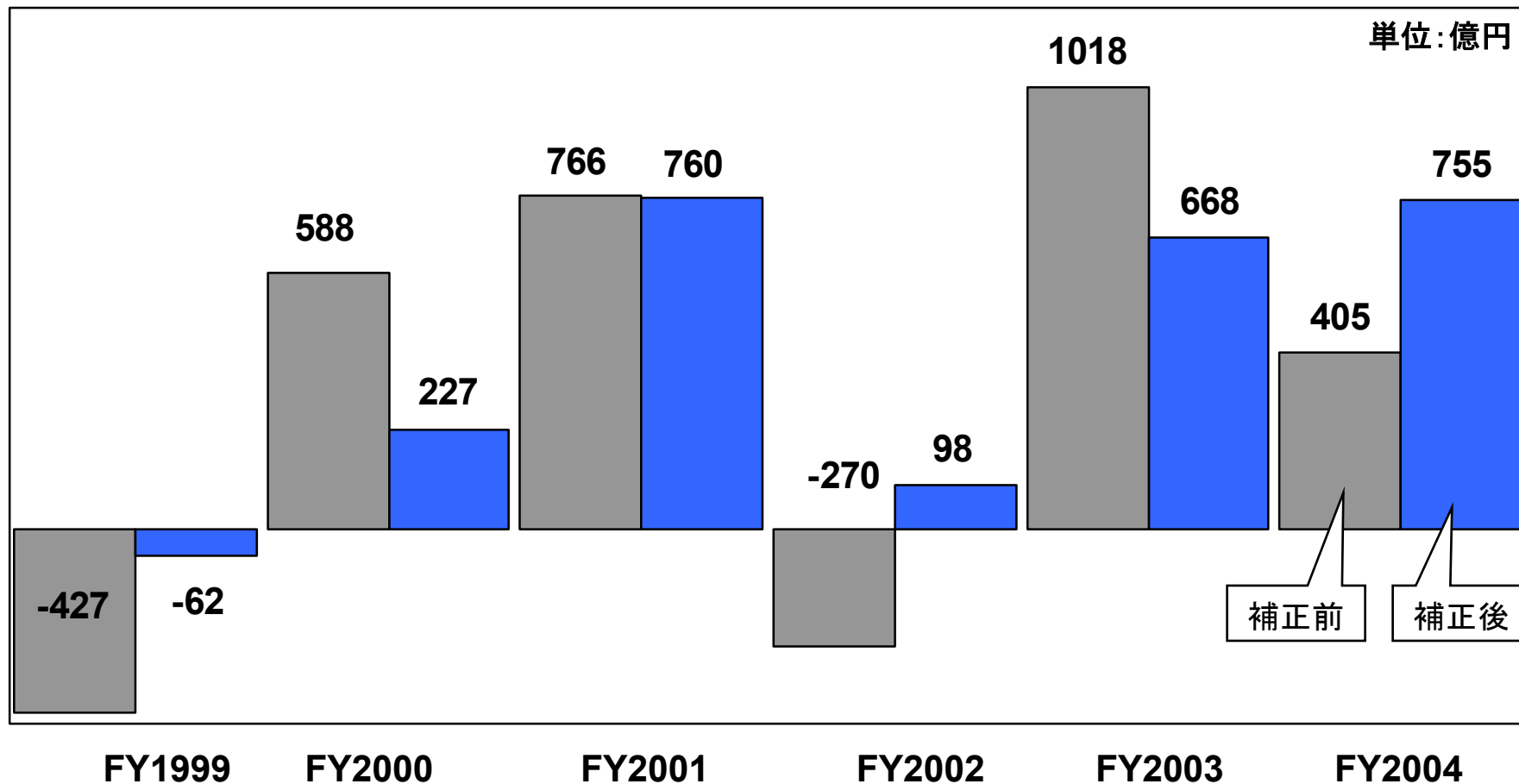
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
アブダビ石油	367	126	119	3
販売子会社	3,050	20	18	▲ 19
コスモ石油ルブリカンツ	302	10	10	7
コスモ松山石油	200	17	16	9

※当期純利益は当社持分相当額です

## <<セグメント別>>

	売上高	営業利益
石油事業	21,053	547
石油開発事業	369	120
その他の事業	830	▲ 1
消去他	▲ 706	▲ 9
合計	21,546	657

# 補足資料⑥ 連結 揮発油支払の影響を除いた営業CFの推移



## 補正営業キャッシュフロー

揮発油税の支払いは毎月末であるため、期末日が休日の場合は翌期にずれてしまう。

このため翌期は13ヶ月分の揮発油税を支払うことになるので、これを12ヶ月分ずつ支払ったベースに補正した営業キャッシュフロー。